

飲み会

飲み会

「レズビアン」

[提供：NAN-NET](#)

飲み会

飲み会

忘れもしない、卒業をまじかに控えた、高校3年の3月5日の話です。

同じクラスで仲のよかった女子6人が集まり、当日、親が旅行でいなくなつて、一人になった由美子の家で、泊まりで、お別れの飲み会を開くことになりました。

その日、私はバイトがあつて、遅れて着いたのは、もう夜の9時過ぎでした。

でも、部屋に入るなりビツクリ。みんな、かなり酔つ払っていたんですけれど……。いきなり目に入ってきたのが、上半身裸で胸をさわりっこをしているリエとマリ。で、部屋の隅っこでは布団がひいてあつて、中に誰かが入っている感じ。

しかも、掛布団が、もぞもぞ動いている。

呆然として立ち尽くしていると、いきなり後ろから抱き付いてきたのが由美子。

「遅かつたじゃーん、マキコ。飲もう、飲もう。私、一人であぶれて寂しかったんだから」。サチとレイコ、もう、二人でやっているよ。」

とりあえず、座らされ、リエとマリも交えて乾杯。いきなり一気飲みを3回もさせられました。

飲みながら聞いたのが、最初、女同士の友情を深めようという話が、酔ってくるにつれ、いつのまにか、女同士の愛情を深めようという話になったとの

ことです。

卒業記念にと、全員で代わる代わる、相手を代え、キスを始めたとのことでした。

最初は、軽いキスがその内、相手が代わるごとに、しだいにディーブになってきて、互いに競い合うようになったとのことでした。

それが、キスからだんだんエスカレートしてきて、誰が一番早く声を出させるかということになって……。

首筋をなめたり、胸を揉んだりしている内に、サチとレイコが下着姿になって、そのまま布団に入っちゃったみたいなんです。

布団の中から「あーっ、あーっ」っていう声がだんだん大きくなってきました。

リエがマリの乳首をチュー、チュー、音をたてながら吸っています。

由美子もいつのまにかスカートを脱いじゃっていて、

「ねえー、マキコ、しようよ」

と言いながら、キスをしてきました。

酔いと周りの凄い状況に、いいかげんに変な気持ちになっていた私はそのまま由美子にされるがまま。

由美子って、最初、他の子たちがカップルになったのに、一人ぼっちだったみたいで、結構、たまっていたみたい。

私の胸を激しく揉むし、その内、私のズボンのファスナーを開けて、中に手を入れてきて激しく揉むしで、もう大変だった。

ズボンを半分脱がされ、下着の中まで手が入ってきて、最初、由美子の指でイってしまいました。

ふと横を見ると、リエとマリはもう全部脱いじゃっていて、ああ向けになつて足を開いているリエのあそこを、マリがペロペロ、舌を使って舐めている。

「あゝやだ。凄いよ、凄いよ」

とリエが、口を大きく開けて喘いでいる。

その夜はその後、途中、相手を代えて、サチとリエともしました。卒業後の女同士の愛情はというと……。

最初の相手の由美子とは短大時代の2年間、愛し合いました。

その後、3人の素敵な女性とめぐり合った私は、今でもビアンの世界から抜けられませんが。

あの日の飲み会に参加して、私の人生が大きく変わったんじゃないかと思えます。

飲み会

飲み会

二〇〇八年三月三十一日 投稿

掲載元 官能小説セレクション

(URL: <http://www.kannou.cc/>)

提供 NAN・NET

(URL: <http://www.nantv.com/index1.htm>)

投稿された文章の著作権は、全てNAN・NETに帰属します。当サイト内の文章、音声等の情報の無断転載、無断引用は禁止です。情報の転載、引用、掲載、取材等をご希望の場合は、必ずご一報ください。上記の要望に対し当社が問題が無いと判断した場合、他メディアにおいて、投稿された情報が掲載等される場合があります。

飲み会